

オイルフィニッシュのメンテナンス

オイルフィニッシュとは？

乾性オイルを木部に染み込ませる仕上げ方法で、オイルが浸透、硬化することにより木の導管を埋め、湿度の変化や汚れなどから木部を守る仕上げで、表面は濡れ色になり木の自然な風合いを際立たせます。使い込むほどに深みのある落ち着いた色に変化していきます。

ふだんのお手入れ

柔らかくきれいな乾いた布で、木目に沿って乾拭きしてください。汚れなどは水やソープ溶液（※「ソープフィニッシュのメンテナンス」参照）に浸し、固く絞った柔らかい布で拭いた後、すぐに乾拭きしてください。

※テーブルの場合は、普段からテーブルクロス、またはランチョンマット等をご使用いただき、直接熱いものや濡れたものを置かないようにしてください。シミや跡ができます。

※水拭きを行いますと表面のオイル成分が取れ、かさつきの原因になります。



オイルフィニッシュのダイニングテーブルには、オイルキットが付属しております。そちらを使い切った場合、またキットが付属しない商品のお手入れは、純正のメンテナンスキットまたは市販の製品がお使いいただけます。

Care Kit Indoor - Wood Oil Clear / Wood Oil White

価格は Price List をご確認ください。

キット内容：仕上げボトル 200ml、スポンジやすり(P100)、エコスポンジ、クロス箱サイズ：幅 22 × 奥行 10 × 高さ 9 cm

オイルメンテナンスの際に準備するもの

- ソープ溶液（「ソープフィニッシュのメンテナンス」参照）
- 市販のサンドペーパー（＃240、＃400）
- 食器洗い用スポンジ
- 乾いたきれいな布またはタオル 数枚
- ウェス
- オイル



オイル仕上げ、スモークドオイル仕上げの場合

当社製の Care Kit Indoor - Wood Oil Clear をお使いいただくか、オスモカラー「＃3101 ノーマルクリアー」をご使用ください。



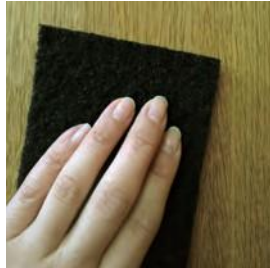
ホワイトオイル仕上げの場合

当社製の Care Kit Indoor - Wood Oil White をお使いいただくか、オスモカラー「ウッドワックス ＃3111 ホワイトスプレー」をご使用ください。

オイルを塗る前に ...

長年のご使用の間にできたテーブル表面の水跡や輪ジミは、ソープ溶液でのクリーニングで、ある程度落とすことが可能です。しかし、チェアなどを含め、色濃く育てたい場合はせつかくの経年変化が落ちてしまいますので、ソープウォッシュせずに塗り重ねていくこともできます。必ず、クリーニングは目立たない場所で試してから全体に行ってください。

汚れをおとす



1. 強い汚れ・深く入り込んだ汚れは、あらかじめ#240くらいのサンドペーパーで木目に沿って軽く削り落としておきます。
#240のサンドペーパーの代わりにCare kitに付属しているスポンジやすり(P100)もご使用いただけます。
2. スポンジにソープ溶液を取り、木目に沿って洗浄します。
3. スポンジで洗いながら泡（水分）をきれいな布で拭きとりそれを繰り返しながら全体的に洗っていきます。特にオークの場合は汚れと共にタンニン（アク成分）が落ちるため、かなり茶色い液が出ます。
4. 表面が完全に乾いてから、市販の#400のサンドペーパーで木目に沿って表面を磨きます。

オイルを塗り、乾かす



5. ウェス、または付属のスポンジにオイルを少量取ります。
6. 木目に沿って薄くオイルを塗りこみ、5～10分ほどおいてから乾いた布やタオルでよく拭きます。
ホワイトオイルの場合は時間を置かずに拭き取ります。

一晩しっかり乾かし、よく乾いていることを確認してからご使用ください。

！ お手入れに関する注意事項

※スチールウールは変色の原因になりますので絶対に使用しないでください。

※オイルを含んだ布は自然発火の恐れがありますので、使用した布は十分に水に浸し、ビニール袋などでしっかり密封してから捨ててください。

※突板の製品の場合、突板は非常に薄いいため研磨用のスポンジやサンドペーパーを用いたクリーニングはできる限り行わず、行う際は十分にお気をつけください。

※ソープでクリーニングする場合はシミの原因となるため、乾く前に泡（水分）を拭き取ってください。

※ソープで汚れを落とす際、木から汚れやタンニンが浮き出てきます。エプロンなど汚れてもよい服装で行ってください。

※メンテナンスは目立たない小さな場所で試してから全面に行うようにしてください。

※樹種特有のアク成分が他の樹種に移ることがあるため異なる樹種を同時にクリーニングする場合はソープ溶液を樹種ごとに作り替えてください。

ソープフィニッシュのメンテナンス

ソープフィニッシュとは？

石けんを溶かしたソープ溶液を木部に染み込ませる仕上げ方法で、石けんの油脂分が木の繊維や表面に残ることで、自然な風合いを残しながら湿度変化に伴う木部の変化や日常の汚れなどがつくことを抑える北欧由来の仕上げです。ソープ溶液を用いたソープウォッシュを行うことで、経年での木部のくすみや日常の汚れが落ちるとともに、新たに石けんの油脂分が補充されることでさらに汚れが付きにくくなります。

ふだんのお手入れ

柔らかくきれいな乾いた布で、木目に沿って乾拭きしてください。汚れなどは水、または薄めたソープ溶液（※本ページ下部参照）に浸し固く絞った柔らかい布で拭いた後、すぐに乾拭きしてください。

入念なお手入れ（ソープウォッシュ）

ソープフィニッシュの家具のクリーニングや、オイルフィニッシュの家具の入念なお手入れの前段階として、クリーニングは下記手順で行ってください。経年でのくすみや、オイルフィニッシュの天板の輪ジミなどを落とすことができます。

ソープウォッシュの際に準備するもの



石けん：無添加・無香料・無着色の純石けん（石けん素地）

お湯：手を入れて熱くない程度

カッター

食器洗い用スポンジ

乾いたきれいな布またはタオル数枚

サンドペーパー（＃240、＃400）

ソープウォッシュの手順



1. まず、ソープ溶液を作ります。石けんをカッターでフレーク状に削り、大さじ 5 杯程度の石けんを、お湯 1 リットルに溶かしながら食器洗い用スポンジを使い十分泡立てます（石けんの濃度 10%以上が目安）。※ソープ溶液は温度が下がると粘度が上がることがあります。その場合は熱湯を加えて加熱し、再度泡立ててご使用ください。
2. 不要な部分にソープ溶液がつかないように注意しながらソープ溶液の泡を食器洗い用スポンジにとって、木目に沿って木部を洗っていきます。（特にタンニン成分が多く含まれるオーク材などの木材では、茶色いアク成分が出てきます。服などに付着すると取れにくいのでご注意ください）。※ソープで洗っても落ちない脚先などのしつこい汚れは、＃240位のサンドペーパーで木目に添って研磨してください。
3. 余分なソープの泡や水分は乾く前に拭き取ってください。拭き残しがあるとシミの原因になります。アームの先や脚先などパーツの先端部分（木口部分）ではソープの泡や水分を特に入念に拭き取ってください。
4. 完全に乾いてから、木部のけば立ちが気になるようでしたら市販の＃400以上のサンドペーパーで木目に沿って表面を軽く磨いてください。



お手入れに関する注意事項

※スチールワールは変色の原因になりますので絶対に使用しないでください。

※突板の製品の場合、突板は非常に薄いため研磨用のスポンジやサンドペーパーを用いたクリーニングはできる限り行わず、行う際も十分に気を付けて行ってください。

※ソープでクリーニングする場合はシミの原因となるため、乾く前に泡（水分）を拭き取ってください。

※ソープで汚れを落とす際、木から汚れやタンニンが浮き出てきます。エプロンなど汚れてもよい服装で行ってください。

※メンテナンスは目立たない小さな場所で試してから全面に行うようにしてください。

※樹種特有のアク成分が他の樹種に移ることがあるため異なる樹種を同時にクリーニングする場合は、ソープ溶液を樹種ごとに作り替えてください。